

【資料2－別添2】

令和6年度米子市地域包括支援センター運営事業実施計画書

長寿社会課 課長 様

令和6年4月10日

ふれあいの里地域包括支援センター

福祉政策課 課長

今年度のセンターの目標		1、地域包括支援ネットワークの強化を行い、実態把握・相談支援体制の強化に務める。 2、米子市地域包括支援センターの再編成に係る引継ぎがスムーズに行える。											
今年度重点的に取り組む項目		<input type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input type="checkbox"/>	地域ケア会議 進事業	推	<input type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>	多職種協働による 括支援ネットワークの構築	地域包
総合相談支援業務													
地域包括支援ネットワークの構築													
(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知	主な内容		包括支援センターのパンフレット・チラシを使用し、地域で開催される研修会や会議での広報活動。また、地域のコンビニ・金融機関・交番などの訪問により、地域の高齢者の情報収集・広報活動を行う。									
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理	主な内容		年度初めの各種総会に出席し、各活動団体の役員名簿を地区ごとに管理する。また、公民館単位でマップでの情報を整理する。									
(ウ)	(イ) が主催する会議等への参加	主な内容		公民館運営協議会・まちづくり協議会・地区社会福祉協議会総会・自治会会長・民生児童員定例会・在宅福祉員総会・保健推進員総会・西部在宅ケア研究会等に参加する。									
実態把握													
(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析	主な内容		介護保険・認知症・成年後見・高齢者虐待・介護離職について、相談内容がわかるように整理し定期的に地区毎に分析をする。									
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施	主な内容		在宅福祉員の見守り活動・フレイルフォロー訪問を実施する。また、地域からの情報提供による訪問実施する。									
包括的・継続的ケアマネジメント業務													
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築													
(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握	主な内容		年度初めに介護支援専門員の名簿・主任介護支援専門員の名簿を作成し、都度更新している。									
(イ)	介護保険制度の普及啓発	主な内容		民生児童委員・在宅福祉員の、見守り活動など同行しながら、地域住民に対して随時説明を繰り返す。また、民生・在宅合同研修会の機会に説明する。									
介護支援専門員情報交換会の実施		目標	24 回／年	主な内容		元気の出る事例検討会・自立支援型地域ケア会議・各在宅ケア連携の会の中で情報提供・情報交換を実施する。							
介護支援専門員を対象とした研修会等の実施		目標	24 回／年	主な内容		各在宅ケア連携の会の中で、研修会・意見交換を企画する。							
地域ケア会議推進事業													
地域ケア個別会議の開催		目標	23 回／年	主な内容		個別の課題を地域で共有しながら、地域課題の抽出・地域支援ネットワークの構築につなげる。							
地域ケア推進会議の開催		目標	30 回／年	主な内容		各地区の地域活動について検討する会に参加し、情報提供・提案などしながら地域づくりにかかわっていく。また、地域課題について必要な政策提言を行う。							
自立支援型地域ケア会議の開催		目標	7 回／年	主な内容		各中学校区ごとに開催予定、担当地域内の居宅介護支援事業所のCMから事例提出を依頼し、お互いに研鑽を積み場とする。							
認知症総合支援事業													
認知症理解の普及啓発													
(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	8 回／年	主な内容		認知症地域推進員と連携し、サポーター養成講座を実施し認知症の啓発に務める。							
(イ)	小中高等学校におけるギッスサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	7 回／年	主な内容		担当圏域の各学校と連携を図り、人権教育プログラムの中で、サポーター養成講座を実施する。							
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	32 回／年	主な内容		家族の会が企画される研修会等に参加・支援を行う。							
(エ)	米子市認知症ケアパスの普及	目標	32 回／年	主な内容		地域住民に対して、認知症の啓発活動とともに、支援体制についての説明も随時行う。							
認知症の相談支援や支援体制の構築													
(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	25 回／年	主な内容		地域のコンビニ・金融機関・交番などに出向き、高齢者の相談窓口としての包括と認知症初期支援チームを設置していることについての啓発活動を行う。							
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	21 回／年	主な内容		サロンや公民館などで認知症の啓発活動とともにタッチパネルを使用して、早期発見に務める。							
認知症カフェに関する運営支援													
(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	12 回／年	主な内容		地域にある認知症カフェの担当者と連携し、活動を支援する。							
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	12 回／年	主な内容		認知症のケアパスに沿って、つどえる場・相談できる場としての情報を発信していく。							
多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築													
主な内容		ふくよね在宅ケア連携の会・ふくいけ在宅ケア連携の会・ひがしやま在宅ケア連携の会をそれぞれ開催し、医療・介護・福祉の専門職や施設、地域住民と協働出来る関係構築・仕組みづくりを進める。											

米子市長 様

令和6年5月15日

義方・湊山地域包括支援センター

住所 米子市彦名町1250番地
法人名 医療法人 厚生会
代表者名 理事長 渡邊 淨司

今年度のセンターの目標	①義方地域の方に不利益がないよう、行政・住吉加茂地域包括支援センターと連携し義方返還を行う。 ②多職種への地域包括支援センター周知。駅前イオン内での連携。
-------------	--

今年度重点的に取り組む項目	<input type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input type="checkbox"/>	地域ケア会議推進事業	<input type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input type="checkbox"/>	多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
---------------	--------------------------	----------	--------------------------	-------------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-------------------------

総合相談支援業務					
地域包括支援ネットワークの構築					
(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知		主な内容	法人HP・回覧・チラシにて周知。公民館、地域役員の会にて説明、センターの周知を行う。	
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理		主な内容	データ管理。義方地区は住吉加茂包括支援センターへ引継ぎしやすいよう書面にてまとめ、情報提供する。5月、7月看護実習生の実習。	
(ウ)	(イ)が主催する会議等への参加		主な内容	地域役員の会、サロンに参加。義方地区は住吉加茂地域包括支援センター、えしこに、地区保健師、社会福祉協議会と適宜同行し参加する。	
実態把握					
(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析		主な内容	本人、家族、病院、行政、民生委員等からの依頼にて訪問。ワイズマンにてデータ管理。	
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施		主な内容	重点化する地区を決め、個別訪問。フレイル度チェック訪問希望なしの方、民生委員実態把握調査を元に訪問する。	
包括的・継続的ケアマネジメント業務					
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築					
(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握		主な内容	人数、主任介護支援専門員資格所有者を確認。データ管理する。	
(イ)	介護保険制度の普及啓発		主な内容	R6年度義方地区は地区講座にて介護保険制度について講演。地区講座、公民館祭、サロン等にて啓発。	
介護支援専門員情報交換会の実施		目標	2回／年	主な内容	居宅介護支援事業所にて意見交換会を開催。
介護支援専門員を対象とした研修会等の実施		目標	2回／年	主な内容	事例検討会、明道地区民生委員さんとの合同研修会を開催。
地域ケア会議推進事業					
地域ケア個別会議の開催		目標	6回／年	主な内容	公民館ごと年2回計画。
地域ケア推進会議の開催		目標	2回／年	主な内容	湊山中学校区 年2回計画。
自立支援型地域ケア会議の開催		目標	2回／年	主な内容	R6年度より、委託先居宅介護支援事業所からも事例提出を依頼する。
認知症総合支援事業					
認知症理解の普及啓発					
(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	回／年	主な内容	認知症サポーター養成講座研修に参加。適宜依頼あれば調整する。
(イ)	小中高等学校におけるキッズサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	6回／年	主な内容	明道小学校・就将小学校 絵本教室、高齢者疑似体験 各2回/年。義方小学校は、住吉加茂地域包括支援センターと引継ぎ相談を行い、調整。各2回/年
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	回／年	主な内容	研修に参加。随時家族の会紹介。
(エ)	米子市認知症ケアバスの普及	目標	回／年	主な内容	個別訪問時啓発・相談。公民館祭、地区講座、なんでも相談等地域の行事にて啓発。
認知症の相談支援や支援体制の構築					
(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	回／年	主な内容	各地域役員の会、公民館祭、地区講座、なんでも相談、サロン、リモート運動体験等にて啓発。
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	2回／年	主な内容	サロン、公民館祭、健康まつりにて実施。例年11月開催義方健康まつりは、住吉加茂地域包括支援センターへ引継ぎを行う。
認知症カフェに関する運営支援					
(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	回／年	主な内容	随時担当地区の認知症カフェ訪問し、連携。
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	回／年	主な内容	随時担当地区の認知症カフェ訪問し、連携。訪問時情報提供、連携を図る。
多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築					
主な内容					

令和6年度米子市地域包括支援センター運営事業実施計画書

米子市長 様

令和6年4月9日

米子市住吉・加茂地域包括支援センター

住所 境港市誠道町2083
法人名 社会福祉法人こうほうえん
代表者名 理事長 廣江 晃

今年度のセンターの目標	介護予防サービス・支援計画書の作成にあたってのアセスメントの確認。立案方法についての研修、伝達の強化。									
-------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今年度重点的に取り組む項目	<input type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input checked="" type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議 進事業	推	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input type="checkbox"/>	多職種協働による 括支援ネットワークの構築	地域包
---------------	--------------------------	----------	-------------------------------------	-------------------	-------------------------------------	---------------	---	-------------------------------------	-----------	--------------------------	--------------------------	-----

総合相談支援業務

地域包括支援ネットワークの構築

(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知	主な内容	ホームページ、ちらし等多様な媒体を活用しての地域包括支援センターの機能・役割の周知
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理	主な内容	民生委員・自治会等関係者の情報整理
(ウ)	(イ) が主催する会議等への参加	主な内容	民生委員、保健推進委員、自治会等の連絡会に地区担当とともに参加。

実態把握

(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析	主な内容	前年度実態把握の訪問者以外の中から、条件設定し訪問とする。
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施	主な内容	認定確定者名簿からの担当外の利用者についての状態把握・確認。フレイル事業フォロー訪問。サロン等の参加時の観察による訪問へのアプローチ

包括的・継続的ケアマネジメント業務

包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築

(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握	主な内容	事業所の介護支援専門員情報、主任介護支援専門員の所属状況を年1回及び変更時には情報提供を求めデータ管理。
(イ)	介護保険制度の普及啓発	主な内容	サロン、民生委員連絡協議会等での制度説明

介護支援専門員情報交換会の実施	目標	2 回／年	主な内容	障害サービス、介護サービス、介護保険制度等について情報交換。
-----------------	----	-------	------	--------------------------------

介護支援専門員を対象とした研修会等の実施	目標	2 回／年	主な内容	虐待対応、身寄りのない方への支援等の研修会
----------------------	----	-------	------	-----------------------

地域ケア会議推進事業

地域ケア個別会議の開催	目標	6 回／年	主な内容	高齢者等が地域においてその人らしい生活を継続することを可能とするため、その人が有する課題解決に向けた検討を行いケアの質を高めるよう参加者のスキルアップ等をにつなげるよう各居宅支援事業所の介護支援専門員の参加も促す。
地域ケア推進会議の開催	目標	6 回／年	主な内容	各地区単位での地域の代表者や関係者等が感じている日々の地域の課題を考える会として継続的に検討を行う。
自立支援型地域ケア会議の開催	目標	2 回／年	主な内容	要支援認定者等の個別事例に対する多職種の専門的な視点に基づく助言を通じた、対象となる高齢者のQOL向上に向けた生活課題の解決や自立支援の促進及び自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術の習得を行うよう各居宅支援事業所の介護支援専門員の参加も促す。

認知症総合支援事業

認知症理解の普及啓発

(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	3 回／年	主な内容	地域住民、民生委員、金融機関、警察書等でのサポーター養成講座の開催
(イ)	小中高等学校におけるキッズサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	3 回／年	主な内容	各小学校での絵本教室、高齢者疑似体験学習の実施
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	10 回／年	主な内容	介護者家族のつどいへの参加
(エ)	米子市認知症ケアパスの普及	目標	6 回／年	主な内容	認知症ケアパスの普及説明

認知症の相談支援や支援体制の構築

(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	30 回／年	主な内容	民生委員連絡協議会、保健推進委員等各関係機関への包括支援センターの周知
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	41 回／年	主な内容	物忘れプログラム実施養成を受けて実施。介護相談会（地区の喫茶店等）の会場での実施

認知症カフェに関する運営支援

(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	84 回／年	主な内容	オレンジカフェかみごとうへの参加により相談及び運営支援
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	12 回／年	主な内容	毎月の予定表の配布住吉

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

主な内容	・住吉・加茂地域包括ケアシステム連絡会 1回／月（養和会・みその児童福祉会・こうほうえん）、まちの保健室 1回／月、地域で一緒に暮らそう会2回／年への参加。自動民生委員連絡協議会、保健推進員総会、公民館祭への参加。 ・その他：地域 密着型サービス事業所運営推進会議、サービス付き高齢者住宅懇談会への参加
------	---

令和6年度米子市地域包括支援センター運営事業実施計画書

米子市長 様

令和6年4月1日

弓浜地域包括支援センター

住 所 米子市大崎1511番地1
法人名 社会福祉法人真誠会
代表者名 理事長 前田 浩寿

今年度のセンターの目標	彦名町、大塚津町：民生委員の実態調査対象外の世帯の実態把握を行い、結果を地域関係者と共有し地域課題の抽出を行う。 夜見町：地域ケア推進会議を継続開催し、ネットワークの構築と地域課題の抽出を行う。 崎津：関係機関と協議し、地域ケア推進会議を再開する。 富益町：地域ケア推進会議にて課題抽出・解決に向けて取り組み、ネットワークの強化など進展を図る。 和田町：見守り支援のための地域役員と関係機関とのネットワークの強化を図る。
-------------	--

今年度重点的に取り組む項目	<input checked="" type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議推進事業	<input type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input type="checkbox"/>	多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
---------------	-------------------------------------	----------	--------------------------	-------------------	-------------------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-------------------------

総合相談支援業務

地域包括支援ネットワークの構築			
(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知	主な内容	ウェブサイトやチラシなどの媒体を活用し、地域の関係機関の会議、イベント、活動の場などへの参加、個別訪問等により関係者、住民へ周知する。
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理	主な内容	地域組織、団体、関係者、及び医療・介護事業所などと日頃から情報交換し情報の整理を行い、情報の正確性と最新性を維持する。
(ウ)	(イ)が主催する会議等への参加	主な内容	自治会会長、民生委員定例会へ年3回参加。在宅福祉員総会へ参加。その他の地域関係機関・関係者主催の会議へ随時参加する。

実態把握			
(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析	主な内容	相談事例については内容を記録すると共に、定期的に職員間で情報共有し内容の分析を行う。
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施	主な内容	彦名町、大塚津町を対象に独居・高齢世帯以外の世帯の実態把握を行う。高齢者実態調査、フレイル度チェックなどを活用し個別訪問を行う。

包括的・継続的ケアマネジメント業務

包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築			
(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握	主な内容	4月に居宅介護支援事業所の情報の確認、更新を行う。居宅介護支援事業所より適宜情報収集し、情報の正確性と最新性を維持する。
(イ)	介護保険制度の普及啓発	主な内容	地域の関係機関の会議、活動の場、イベント等に参加、個別訪問などにより、関係者、住民へ介護保険制度の啓発を行う。

介護支援専門員情報交換会の実施	目標	2 回／年	主な内容	介護支援専門員と民生委員の情報交換など、年2回（5月、10月）に実施。
介護支援専門員を対象とした研修会等の実施	目標	2 回／年	主な内容	研修会、事例検討会など、年2回（7月、1月）に実施。

地域ケア会議推進事業			
地域ケア個別会議の開催	目標	12 回／年	主な内容 介護支援専門員、関係機関、地域住民等からの相談をもとに、随時開催する。
地域ケア推進会議の開催	目標	13 回／年	主な内容 和田町：年6回、富益町：年3回、夜見町：年3回 開催。 崎津：H30年度以降開催中断している。R6年度再開に向け、準備会、及び年1回地域ケア推進会議を開催。
自立支援型地域ケア会議の開催	目標	2 回／年	主な内容 年2回（9月、2月）に開催。

認知症総合支援事業					
認知症理解の普及啓発					
(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	6 回／年	主な内容	地域関係機関や住民の要請をもとに随時開催、開催の働きかけを行う。米子市は第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画にて講座受講者1000人/年を目標としており、弓浜地域では人口比に基づき130人/年の受講、各地区1回開催を目標とする。また地域関係者の会議、地域ケア推進会議などにて認知症理解のための情報発信、啓発を行う。
(イ)	小中高等学校におけるキッズサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	8 回／年	主な内容	小中学校と調整を行い認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等を行う。
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	3 回／年	主な内容	認知症地域支援推進員と連携し、認知症カフェ（圏域内で再開を計画している3か所）や地域での交流の支援及び認知症カフェなど交流の場の情報提供、交流支援を行う。
(エ)	米子市認知症ケアパスの普及	目標	9 回／年	主な内容	地域ケア推進会議（3回）、公民館祭（6回）、その他地域の関係機関の会議、イベント、活動の場などで情報発信する。

認知症の相談支援や支援体制の構築				
(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	30 回/年	主な内容
自治会会長、民生委員定例会、在宅福祉員の会など地域の関係機関の会議（18回）、公民館大学（6回）、公民館祭（6回）などの公民館活動、その他イベント、活動の場などへの参加や、個別訪問等により関係者、住民へ周知する。				
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	6 回/年	主な内容
公民館祭（6回）、いきいきサロン、その他地域活動等において実施する。				

認知症カフェに関する運営支援					
(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	3 回/年	主な内容	コロナ禍以降、担当圏域内の認知症カフェは休止している。運営組織・団体と協働し、3か所の認知症カフェの再開に向けて取り組む。継続運営のための支援を行う。
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	9 回/年	主な内容	地域ケア推進会議（3回）、公民館祭（6回）、その他地域の関係機関の会議、イベント、活動の場などで情報発信する。

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築			
主な内容	地域の組織、関係機関の会への参加等により関係の構築や深化を図る。 地域ケア会議や居宅連絡会などにより、地域組織・役員と介護・医療・福祉などの専門職の関係作りを行うと共に、課題を共有するなかで共通の課題を明確にし、支援のネットワーク構築を進める。		

米子市長 様

尚徳地域包括支援センター

令和6年 4月 1日

住所 鳥取県境港市誠道町2083番地
法人名 社会福祉法人 こうほうえん
代表者名 理事長 廣江 晃

今年度のセンターの目標	重度の介護が必要な状況や認知症が既に進行している状態になってからの相談が多い。また課題の重複する複雑な内容の相談が増加傾向にある。問題の芽が小さなうちに早期の対応が行えるよう、地域の相談窓口としての存在と役割を周知し、相談の入りやすい環境を整える必要がある。対応策として①地域の薬局、コンビニ、郵便局、スーパー、銀行等に包括支援センターのポスターを掲示。職員の方にも、相談先として、包括支援センターを紹介して頂くように働きかける。②来所や電話相談が難しい方へは、積極的に訪問を実施する。				
-------------	---	--	--	--	--

今年度重点的に取り組む項目	<input checked="" type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議推進事業	<input type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>	多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
---------------	-------------------------------------	----------	--------------------------	-------------------	-------------------------------------	------------	--------------------------	-----------	-------------------------------------	-------------------------

総合相談支援業務					
地域包括支援ネットワークの構築					
(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知		主な内容	パンフレットや広報紙等を作成し、様々な場所や関係機関への配布や掲示を行うなど、地域住民及び関係者の目に留まり、意識に残るように積極的な広報に努める。	
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理		主な内容	地域の医療・介護事業者、民生委員やインフォーマルサービス等、様々な関係者による会議に積極的に参加し、日頃から情報交換等を通じてネットワークの構築を図る。	
(ウ)	(イ)が主催する会議等への参加		主な内容	積極的に参加し、包括支援センターの広報や情報共有、意見交換を行う。	
(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析		主な内容	個別の事例について課題の内容を専門職の意見を元に情報共有することで分析を行う。	
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施		主な内容	様々な方面からの相談（民生委員・在宅福祉委員、地域のインフォーマル等）に応じて訪問を行い、実態の把握を行う。	
包括的・継続的ケアマネジメント業務					
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築					
(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握		主な内容	事業所へのヒアリングにて収集	
(イ)	介護保険制度の普及啓発		主な内容	公民館・サロン等での講話	
介護支援専門員情報交換会の実施		目標	2回／年	主な内容	介護支援専門員相互の情報交換等を行い、介護支援専門員のネットワーク構築を支援する。 介護支援専門員と民生委員や地域の医療機関、駐在所、郵便局等との情報交換会、連絡会の開催。
介護支援専門員を対象とした研修会等の実施		目標	2回／年	主な内容	介護支援専門員の資質向上のための、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント研修会や事例検討会を開催する。
地域ケア会議推進事業					
地域ケア個別会議の開催		目標	8回／年	主な内容	住み慣れた地域において“その人らしい生活”の継続を支援するため、課題の解決に向けた検討を地域住民と共に行い、ケアの質を高めていく。個別ケース検討を通して、地域課題の抽出も行う。
地域ケア推進会議の開催		目標	8回／年	主な内容	個別ケースの検討を積み重ねる中で明らかになった地域の課題や、地域の代表者や関係者等が日頃の活動に基づいて把握した課題を参加者で共有し、検討。課題解決に向けた政策提言に繋げる。
自立支援型地域ケア会議の開催		目標	2回／年	主な内容	個別事例に対し、多職種の専門的な支援に基づく助言を通じて、ＱＯＬの向上に向けた生活課題の解決や自立支援を促進を図る。自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術の習得を目指す。
認知症総合支援事業					
認知症理解の普及啓発					
(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	2回／年	主な内容	認知症地域支援推進員等と連携し幅広い年齢層に対して認知症についての正しい知識を深めるため、地域住民に向けた、認知症サポーター養成講座を実施する。
(イ)	小中高等学校におけるキッズサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	3回／年	主な内容	圏域内3か所の小学校にて認知症絵本教室、高齢者疑似体験を実施し、理解啓発を図る。
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	4回／年	主な内容	圏域内に設置されている認知症カフェの情報を提供するなど周知啓発を行い支援をする。
(エ)	米子市認知症ケアパスの普及	目標	8回／年	主な内容	認知症が疑われる人又はその家族を訪問し、家族支援等をかかりつけ医と連携しながら認知症の様態に応じたサービス提供を地域に応じて普及する。
認知症の相談支援や支援体制の構築					
(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	10回／年	主な内容	・民生委員、老人会、自治会等との関係強化。・地域活動への積極的な参加。 ・広報の制作と配布
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	4回／年	主な内容	・公民館祭等での出張介護相談会において実施。
認知症カフェに関する運営支援					
(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	24回／年	主な内容	毎月2回開催するカフェに参加し本人や家族の相談対応と運営サポーターの後方支援を実施。
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	12回／年	主な内容	担当圏域の2か所で開始しているカフェの広報と個別相談時にカフェの紹介や参加案内を行う。
多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築					
主な内容		「介護・医療連携地域ケアカフェ」を開催（各地区2回）し、顔の見える関係の構築、情報共有、意見交換を実施。 参加者：医師、薬剤師、民生委員、自治会、駐在所、コンビニ、サービス事業所、居宅支援事業所、地区担当保健師、認知症地域支援推進員			

米子市長 様

令和6年4月1日

箕蚊屋地域包括支援センター

住所 米子市一部555
法人名 社会福祉法人 博愛会
代表者名 理事長 安田 文明

今年度のセンターの目標	相談時や実態把握等、積極的に訪問の機会を増やし早期にかかわることで、 初期段階での重度化ケースや、困難ケースを減らす
-------------	---

今年度重点的に取り組む項目	<input checked="" type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議 推進事業	<input type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input type="checkbox"/>	多職種協働による 地域包括支援ネットワークの構築
---------------	-------------------------------------	----------	--------------------------	-------------------	-------------------------------------	----------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-----------------------------

総合相談支援業務					
地域包括支援ネットワークの構築					
(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知		主な内容	法人ホームページへの掲載、年 2 回広報誌の発行	
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理		主な内容	地域における構成員・連絡先等を把握し、リストを作成する	
(ウ)	(イ) が主催する会議等への参加		主な内容	民生委員、在宅福祉員の定例会や総会への参加、公民館活動の打ち合わせ、地域ケア会議の打ち合わせ、運営推進会議への参加	
実態把握					
(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析		主な内容	毎月の日報にて分析・集計	
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施		主な内容	目標：年間90件 高齢者実態調査結果、フレイル関係のリストに基づく個別訪問、民生委員、近隣住民等からの相談による個別訪問を行う	
包括的・継続的ケアマネジメント業務					
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築					
(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握		主な内容	年 1 回、箕蚊屋地域全ての居宅・小規模多機能事業所に在籍する職員の職種、氏名を把握する 適宜更新する	
(イ)	介護保険制度の普及啓発		主な内容	民生委員、在宅福祉員の定例会や総会、公民館活動等で説明を行う	
介護支援専門員情報交換会の実施		目標	2 回／年	主な内容	箕蚊屋地域の全事業所（居宅 5 事業所、小規模多機能 2 事業所）を対象に、集合形式で実施 制度の解釈、業務内容等それぞれが抱えている疑問点、知りたい情報等について、共有、情報交換を実施
介護支援専門員を対象とした研修会等の実施		目標	2 回／年	主な内容	事前にアンケートを行い、介護支援専門員のニーズ（専門性を高めたい内容や対応に苦慮しているケースの相談会等）を把握し、その内容に応じた研修会等を実施する
地域ケア会議推進事業					
地域ケア個別会議の開催		目標	8 回／年	主な内容	公民館単位で年間 2 回開催し、個別課題の解決や、個別課題から地域課題の発見や資源開発につなげる
地域ケア推進会議の開催		目標	4 回／年	主な内容	地域ケア個別会議から発見された地域や、地域から提案された課題の解決に向けての会議を開催する 上半期 2 回、下半期 2 回行い、それぞれ事前打ち合わせを行う
自立支援型地域ケア会議の開催		目標	2 回／年	主な内容	1 回目は包括が事例提出し、各居宅・小多機事業所に見学していただく 2 回目は 3 か所の居宅・小規模多機能事業所に事例提出していただき、検討会を開催する
認知症総合支援事業					
認知症理解の普及啓発					
(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	回／年	主な内容	自治会やサロン等団体より依頼があれば実施する
(イ)	小中高等学校におけるキッズサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	4 回／年	主な内容	箕蚊屋小学校で高齢者疑似体験と絵本教室の実施 淀江地区、尚徳地区の補助
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	回／年	主な内容	
(エ)	米子市認知症ケアバスの普及	目標	回／年	主な内容	
認知症の相談支援や支援体制の構築					
(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	8 回／年	主な内容	民生委員、在宅福祉員の定例会や総会、公民館行事等で説明を行う
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	5 回／年	主な内容	各公民館祭り、博愛苑のイベント等で実施
認知症カフェに関する運営支援					
(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	回／年	主な内容	
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	回／年	主な内容	
多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築					
主な内容		民生委員、在宅福祉員の定例会や総会、公民館行事等への参加や、地域ケア会議等を通じて行う			

令和 6 年度米子市地域包括支援センター運営事業実施計画書

米子市長 様

淀江地域包括支援センター

令和6年4月1日

住所 米子市淀江町淀江 1 0 7 5 番地
法人名 社会福祉法人 いずみの苑
代表者名 理事長 河本 英穂

今年度のセンターの目標	年間を通じ総合相談支援業務に重点を置いた活動を行う ・積極的な実態把握（アウトリーチ強化）による早期介護予防のアプローチ（特に昨年度に続き宇田川地区） ・健康づくりサポーター（ボランティア）との連携・活動実施 ・包括支援センターの周知拡大
-------------	--

今年度重点的に取り組む項目	<input checked="" type="checkbox"/>	総合相談支援業務	<input type="checkbox"/>	包括的・継続的ケアマネジメント業務	<input type="checkbox"/>	地域ケア会議 推進事業	<input type="checkbox"/>	認知症総合支援事業	<input type="checkbox"/>	多職種協働による 域包括支援ネットワークの構築
---------------	-------------------------------------	----------	--------------------------	-------------------	--------------------------	-------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-------------------------

総合相談支援業務

地域包括支援ネットワークの構築			
(ア)	多様な媒体及び場を活用した地域包括支援センターの機能・役割の周知	主な内容	法人HPの記載・チラシによる各戸訪問・出張相談や地域行事参加の際の配布、公共施設や病院・薬局・スーパー・コンビニなどにチラシを置かせてもらい世代を問わず周知を図る。 地域のインフォーマルな会議等に参加し周知を図る。
(イ)	地域における関係機関・関係者のネットワークに係る情報の整理	主な内容	昨年度作成済み一覧表の見直し更新し紙面・データで管理する。今年度は地域サポーター名簿も作成する。
(ウ)	(イ) が主催する会議等への参加	主な内容	インフォーマル・フォーマル共に例年参加の会議に参加（民生児童委員・在宅福祉員・保健推進員・自治会会長・淀江防災を考える会・ボランティアいずみ・地域密着サービス定期開催会議など）毎月の公民館だよりを確認しネットワーク拡大に繋がる会議への参加を検討する。

実態把握			
(ア)	総合相談支援業務全般を通じた相談事例の内容の分析	主な内容	相談票を活用した要因の分析（年齢・相談内容・地区別等）
(イ)	高齢者や家族等からの相談に起因しない高齢者宅の個別訪問（アウトリーチ的訪問）の実施	主な内容	高齢者実態把握調査をもとに、昨年度から始めた宇田川地区のアウトリーチ訪問を終了し、次に大和地区も同様に訪問開始する。フレイル度チェックによるフレイル該当（同意なし）の対象者訪問（10件以上）他フレイル度チェックを活用しできるだけ積極的に実施していく。地区担当保健師との協働によるハイレスク訪問の継続。

包括的・継続的ケアマネジメント業務

包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築			
(ア)	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータの把握	主な内容	昨年度作成済み一覧表の見直し更新。紙面・データで管理。最新の情報収集に努める。できるだけタイムリーに介護支援専門員・主任介護支援専門員の人数把握。
(イ)	介護保険制度の普及啓発	主な内容	サロン他地域住民が集う会での説明（今年度は地区講座での講演も予定）地域から依頼があれば出向く（住民目線で分かりやすい説明を心がける・寸劇など）
介護支援専門員情報交換会の実施		目標	4 回／年
		主な内容	介護支援専門員・包括の情報交換会他、昨年同様に民生児童委員との連携も目的にした意見交換会や圏域内の介護保険事業所とのケアカフェの開催。
介護支援専門員を対象とした研修会等の実施		目標	6 回／年
		主な内容	介護支援専門員のみ対象の研修会と例年同様に民生児童委員との合同研修会を企画。介護支援専門員対象の研修は希望を確認し内容を選定し実施。介護支援専門員のスキルアップ向上につながるよう定期事例検討会や自立支援型ケア会議の参加を促す

地域ケア会議推進事業			
地域ケア個別会議の開催	目標	6 回／年	主な内容
			地域住民や介護支援専門員等からの相談を受け随時開催する。介護支援専門員から出てくる相談数もこれまであまりなかった為、相談しやすい関係づくりを日頃から意識し関わっていく。各地区2回。
地域ケア推進会議の開催	目標	2 回／年	主な内容
			これまでの開催からあがった課題・今年度の事例検討会・個別ケア会議等を活用し各地区の課題をまとめ、一つでも解決に繋がるような会となるよう企画する。毎年各地区1回開催していたが今年度は宇田川地区と昨年度の会で課題抽出に向け十分に話し合う事ができなかった為、淀江地区の開催を検討。
自立支援型地域ケア会議の開催	目標	2 回／年	主な内容
			昨年度同様に開催。地域の介護支援専門員にも参加を促す（事例提出も）

認知症総合支援事業

認知症理解の普及啓発			
(ア)	地域における認知症サポーター養成講座の実施支援	目標	2 回／年
		主な内容	幅広く住民への理解を求める為（昨年度は住民から自治会での参加依頼あり）包括チラシ等で認知症サポーター講座についても周知を図っていく。地域サポーターへ養成講座の実施。
(イ)	小中高等学校におけるギスサポーターの養成（認知症理解絵本教室及び高齢者疑似体験学習等）	目標	1 回／年
		主な内容	淀江小学校で絵本教室・疑似体験を実施。時期について学校へ相談。他包括の実施協力。
(ウ)	認知症の人や家族等の交流支援	目標	0 回／年
		主な内容	地域のオレンジカフェへの参加。オレンジカフェの啓発。今後の集いの場の発掘。相談業務、認知症地域支援推進員と連携し活動。
(エ)	米子市認知症ケアパスの普及	目標	0 回／年
		主な内容	認知症ケアパスについて住民の周知を図る。これまであまり活用できていなかった「認知症あんしんガイド2023年度版」をあらゆる機会に活用していく。

認知症の相談支援や支援体制の構築			
(ア)	地域における地域包括支援センターの認知度の向上	目標	0 回／年
		主な内容	毎月の出張相談会をはじめ、地区講座・公民館行事等で包括支援センターのチラシを活用し相談窓口の周知を図る。アウトリーチによる声掛け。認知症地域支援推進員との連携。
(イ)	「物忘れ相談プログラム」の実施	目標	40 回／年
		主な内容	毎月3地区での出張相談会での実施。公民館祭をはじめ地域イベントでの実施。認知症についてあらゆる世代に関心を持っていたけように高齢者に限らず、地域のイベントに参加しその中で体験を動めていく。

認知症カフェに関する運営支援			
(ア)	認知症カフェに関する相談及び運営支援	目標	0 回／年
		主な内容	既存の再開したオレンジカフェのバックアップを継続。又圏域内のオレンジカフェは1か所のみの為、できれば母体法人と協力し場所提供し地域のボランティアでの運営を検討。
(イ)	認知症カフェの実施に関する情報発信	目標	0 回／年
		主な内容	再開したオレンジカフェについて包括の活動の中でチラシ等を配布。

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築			
主な内容	日々の活動においては圏域担当保健師との密な連携を図る。介護・保健・医療・福祉、インフォーマル等あらゆる関係機関との連携を意識し情報を整理し、地域資源の確認と共に新しい社会資源の発掘にも努める。個別ケア会議も含め必要により随時地域関係者の参加を依頼したり、関係機関から会議参加や研修などの案内があればできるだけ参加し繋がりをつくる。米子東病院連携室との定期連絡会継続と合同イベントの開催、その他地域の薬局・医院等との連携強化をも意識し日々活動する。地域のボランティアとのつながりをもち連携し活動する。総合相談支援センターえしにことの連携を図る。地域住民に対しても「もしもの時のあんしんノート」の活用を進める。		